

# 消 防

## 消防団員家族に招待券を用意すべき 観覧席を増やす方向で検討していく

### 消防出初式

平成22年1月の消防出初式には、多くの消防団員の家族が訪れたが、観覧席が一杯であった。消防団活動は家族の協力が不可欠である。家族に招待券を配付し、観覧席で団員の勇姿を見てもらい、応援してもらおうことが団員の士気の高揚につながるのではないかと。また、式の内容も可能な限り、魅力ある企画にできないか。

答 消防出初式において、消防団の威風堂々とした訓練の様子を家族に披露することが、消防団活動の理解を深めると考え、観覧席を増やす方向で検討していく。

今後、新春を飾る恒例行事として、市民の心に残る式にしたいと考えている。

かいづ 勲議員(道)



マンション建設が予定される京成市川真間駅周辺

# こ と も

## 両親学級

共働き世帯等が増えている現在、男女が共に子育てや家事を担い合うことは大切である。出産や育児の知識

秋本のり子議員(社民・市民)

## 交流まで至らないのではないかと 仲間と話し合える場の情報を提供

を学ぶ両親学級は3時間程度で修了するコースとなっているため、参加者が交流まで至らないのではないかと。男女共同参画社会推進のため、また、市政に目を向けるきつ

## 保育園待機児童の解消

市長は選挙のマニフェストの中で、保育園待機児童ゼロを第一番目に掲げている。待機児童を解消させる

大川正博議員(公明党)

## どのような取り組みのか ソフト面も含めあらゆる施策考えたい

ことは少子化対策の中でも、不況の社会情勢もあって大変深刻な問題である。市長は今後リーダーシップを発揮して、どのように取り組んでいくのか。

答 女性が安心して働ける環境を整えるため、待機児童ゼロを目指すことを公約に掲げた。これまでは、保育園建設に重点を置いてきたと認識しているが、今後はそれも含め、今まで取り組んでいなかったソフト面等、あらゆる施策について、取り組んでいきたいと考えている。

# 施 設

## 市営住宅の老朽化

国の指針に基づき、良質な居住環境の形成等を理念に公営住宅の住生活基本計画の策定が自治体に義務付けられる高齢者にとって厳しい

大場 諭議員(公明党)

## 高齢者に厳しい住環境 改善策は 耐震補強後エレベーター設置検討

本市の市営住宅の現状を見ると、老朽化による施設の破損、エレベーターが無いため、居住者の多くを占める高齢者にとって厳しい

けられた。

住環境である。この現状の改善策を問う。

答 市営住宅の整備は、平成16年度から改修や耐震補強工事を行っている。居住者の高齢化率が高いことから、耐震補強工事後にエレベーターの設置を検討すると共に、高齢者が安心して生活できるように、地域で支え合う施策にも取り組む。

## アイ・リンクホール

アイ・リンクホールについては、平成20年9月定例会において、軽音楽にも利用出来るとの答弁があった

宮本 均議員(公明党)

## 幅広い楽器が使用できる方策は 周辺に迷惑かけない音量かを実験

が、現状では、使用する楽器の種類に一部制限が加えられている。もっと幅広い音量までであれば、周辺施設に迷惑をかけずに、現在制限している楽器が使用できるかを実験していきたい。

答 アイ・リンクホールの周辺には、医院、商店、老人福祉施設等が入居している。こうした周辺施設に迷惑がかからないように、現在は音量が大きく出せる一部の楽器の使用を制限している。今後は、どの程度の音量までであれば、周辺施設に迷惑をかけずに、現在制限している楽器が使用できるかを実験していきたい。

# ま ち づ く り

## マンション建設

UR都市機構市川真間アパート跡地に建設予定のマンション1階を店舗とするよう地域の商店会から要望

宮田かつみ議員(ガバナンス)

## 街づくり協議会発足などの考えは 地域の意向を支援していく

書や陳情が提出された。民意を反映し、都市計画マスタープランを具現化するに、街づくり協議会の発足など、行政主導の取り組みが必要と考えるがどうか。

答 市民協働で策定した都市計画マスタープランでは、当該地区を「地域住民の生活に密着したサービス機能を担う土地利用を図る」と示している。これを実現するには、地域商店会の発意が重要と考える。市でも地域住民の意向がまれば、地区計画や建築協定の策定に向け支援していきたい。

## 工場跡地の有害物質

京葉ガス株式会社の工場跡地の土壌から、法の基準値を上回る汚染が検出された。事業者は自主的に調査

フリテイ長嶋議員(ガバナンス)

## 市民の安全どう担保する 住民へ影響ないよう事業者を指導

し、近隣住民や学校等へ調査結果を説明し、地下水を汲み上げての浄化処理などを実施するという。近隣住民の安心安全を担保するために、本市として出来る汚染対策、指導等はないか。

答 汚染土壌の対策については、土地利用形態に応じて、掘削除去や封じ込め、現地での浄化などの対策を検討することになる。市としては、当該事業者と連絡を密にし、今後の土地利用を含め周辺住民に影響が出ないよう適切に指導していきたい。

## 市川駅南口再開発地区

市川駅南口再開発事業と合わせてバス通りの拡幅計画があったが、地権者の反対で中断していると聞く。

金子 正議員(みらい)

## バス通りの拡幅への取り組みは 地域の意見を聞きながら検討

地域には必要だが、地元に住み続けたい気持ちも理解できる。市はこうした声をどのように把握しているのか。また、拡幅の代替地を近隣に探して積極的に打診

すべきと考えるが、どうか。

答 拡幅案に関する沿道地権者へのアンケートでは約半数が反対であった。また、一部の地権者からは、長期的に検討すべきとの意見書が市長宛に提出されている。引き続き地域の意見を聞きながら検討し、計画がまれば代替地についても改めてお願いしていきたい。

## 信篤・二俣地域の都市基盤整備

二俣地区の歩道整備と溢水対策は船橋市と協議し県に要望していく

松永修巳議員(緑風会)

## 二俣地区の歩道整備と溢水対策は 船橋市と協議し県に要望していく

課題となっている。また、船橋市の下水道が接続する二俣川の水門では、ゲリラ豪雨時に溢水し、近隣の住宅に被害を出している。本

課として、船橋市と協議して県に要望していきたい。溢水対策については、船橋市に早期対応を求めており、船橋市では原因究明と対応の検討を行っていると聞いている。

答 蓋架け歩道については、県が歩道設置と交差点の改良を計画したが、地権者の理解を得られていないと聞いている。本市としては、船橋市と協議して県に要望していきたい。